

芸術新聞社賞

石村空也(埼玉)
「時を重ねて」
油彩 F100



私のテーマは、銅板葺きの看板建築です。銅板が、築百年前後の時を刻み、緑青に錆びた色彩に魅せられて、描き続けています。私の作品に、芳賀先生をはじめ、諸先輩方から、率直な幾多のアドバイスを頂きました。これを糧に、一層の努力をしてまいります。



中尾賞

藤田有里子(兵庫)
「四季の滝音」
工芸/箔絵 120×180cm



中尾賞という荣誉ある賞を頂き、身に余る光栄と存じます。九月に緑内障発作に見舞われ、左目を手術し退院した日に受賞の封筒を手にしました。感謝と共に私も皆様も健勝で創作していけることを願うばかりです。



中尾賞

星名昌和(埼玉)
「モデル」
油彩 F60



以前は静物風景画に取組んで来ましたが「モデル」での評価を頂き、これからの方向が見えた思いです。今後は人物画に一層取組んでいきたい、何時も出品間際に仕上げを反省し、これからは時間に余裕をもつて描いていきたいと思えます。



新日美大賞

倉田遼一(東京)
「碧釉菊花紋大皿」
工芸/陶器 43×8cm



二点出品の内的一点、趣向を凝らして情に燃える炎を壺の表面に表した自信作「情炎」は、永年励んでいる、伝統的な瑠璃釉薬を使った作品、「碧釉菊花紋大皿」に負けてしまったようです。「大皿」が素晴らしい新日美大賞を受賞できたことを大変喜んでおります。ありがとうございます。



小品部門特選

杉森修(栃木)
「私・・・」
パステル 63×48cm



「私は・・・」人物(妻)画を描きながら、描かれている人物と対話をしながら、一体自分は何を描きたいのか模索をしています。そして、妻を画いている時、まるで自画像を描いている時の様に思え、不思議な感覚に陥ります。



小品部門大賞

鴨下康一(東京)
「太古の記憶(長瀬)」
色鉛筆 F12



小品部門大賞を頂きとても光栄です。色鉛筆は独学で一二年になります。目標は油絵の写実画を色鉛筆で挑戦し少しでも近づくこと。私にとって難しいものでも挑戦し続けたいと思っています。ご指導宜しくお願いします。



新人賞

中島千津(滋賀)
「生命の鼓動」
工芸/型染 120×220cm



生活の中で、自然とのかかわりを大切にしています。そんな中で、自然界の全ての物が風に寄って動いているような気がします。その風を作品に表現したいと思えました。この新人賞をいただき、原点に戻り、ガンバレのエネルギーと、日々努力したいと思えます。



新人賞

茂木時男(埼玉)
「午後のカフェテラス」
水彩 F50



新人賞を頂き感謝しております。作品は、カフェのガラスの強烈な赤とガラスの映り、椅子の白さ等、色の対比に心動かされました。これからも先生方の指導の下、透明感のある絵を目指していきます。

